

平成 29 年度 学術資料整備委員会活動経過報告

I. 会議等の開催状況

第 1 回 平成 29 年 9 月 5 日（火） 於：名古屋大学附属図書館
（議題）

1. 平成 29 年度事業計画について
2. 各 WG の平成 29 年度の活動について
3. 国立大学図書館協会シンポジウムについて

その他の会議は全てメールにより審議、決定。

II. 活動内容

1. 平成 29 年度事業計画の策定

- 1) 国立大学図書館として利用者に提供すべき学術情報資源を適切に整備し、利用環境を構築するために、調査・企画などを実施
- 2) 活動計画／重点事項
 - ・電子ジャーナルに関する検討
 - ・デジタルアーカイブに関する検討
 - ・シェアード・プリントに関する検討
 - ・上記のほか取り組むべき課題の再確認、及び、各課題の優先度、委員会としての取り組み方に係る検討

2. 各 WG の活動

1) 電子ジャーナル WG

- ・電子ジャーナル契約変更事例調査を行い、モデル化報告書の作成を進めている。
- ・平成 29 年 12 月 21 日に「電子ジャーナル購読をめぐる課題－サステイナブルな学術情報流通のために－」をテーマとして国立大学図書館協会シンポジウムを開催し、委員会報告として「契約変更事例 モデル化中間報告」を行った。

2) デジタルアーカイブ WG

- ・WG メンバーの所属する館を対象にデジタルアーカイブに関する調査を行った。
- ・平成 29 年 10 月 18 日に開催された平成 29 年度京都大学図書館機構講演会「デジタルアーカイブの新たな展開と可能性－IIIF の動向と活用例から考える－」に協賛した。
- ・「大学図書館デジタルアーカイブの活用に向けて」をテーマとして平成 30 年度の国立大学図書館協会シンポジウムの企画（案）を検討した。

3) シェアード・プリント WG

- ・東海北陸地区大学間学術資源活用事業 WG（A 班）と連携して、「共同分担保存試行計画（案）」を策定し、実施に向けての意向調査を行った。

- ・同事業 WG (B 班) と連携し、地区共同保存書庫の建設を目指し、設置後の運営に係る課題 (①概算要求の内容の精査、②資料の収蔵及び管理方法、③ILL、④経費、⑤運営) を整理し、対応策を検討した。
- ・上記の A 班、B 班ともに、ILL を見直して効率化することにより、地区内大学間での文献共有・利用のあり方を改善する方策について検討した。

3. 国立大学図書館協会シンポジウムの実施

開催日時 平成 29 年 12 月 21 日 (木) 13:00-17:00

開催場所 東京大学小柴ホール

テーマ 電子ジャーナル購読をめぐる課題 —サステイナブルな学術情報流通のために—

III. 委員構成

委員長：	森 仁志	名古屋大学附属図書館長
副委員長：	寺本 康俊	広島大学図書館長
委員：	綾部 輝幸	東京学芸大学教育研究支援部学術情報課長
	篠栗 伸一	富山大学学術情報部図書館情報課長
	大山 努	静岡大学学術情報部図書館情報課長
	木下 聡	名古屋大学附属図書館事務部長
	北村 照夫	神戸大学附属図書館事務部長
	尾崎 文代	鳥取大学学術情報部図書館情報課長
	郷原 正好	広島大学図書館部長
	瓜生 照久	九州大学附属図書館図書館企画課長
事務局	竹谷 喜美江	名古屋大学附属図書館情報管理課長
	萩 誠一	名古屋大学附属図書館情報管理課課長補佐

(平成 30 年 3 月 31 日まで)

米津 友子 名古屋大学附属図書館情報管理課課長補佐

(平成 30 年 4 月 1 日から)